

マダラヘビの一種 ～ シロマダラを撮影

報告者：森永

皆さんはシロマダラというヘビをご存知でしょうか？ 図鑑では、平地から山地まで広く生息するが、出会う機会は少ないと紹介されているマダラヘビの一種です。

2019. 5. 22 に「ときがわ森林インストラクターの森」を訪れた際、このシロマダラを写真撮影できたので、ご報告します。



出会ったシロマダラは、写真のように、黒褐色の頭部に続く胴体部分に特徴的な“まだら模様”がみられました。この外見が、普段よく見かけるシマヘビやアオダイショウ等とは大きく異なっており、最初に見かけたときには「!？」という印象でした。

これだけ特徴的なのに、ご存知の方が少なく、出会う機会が少ないヘビとされるのは、活動が夜行性で、そもそも目撃されにくいからのようです。

また、シロマダラは生態的にも興味深い特徴をもっており、小型のヘビやカナヘビを捕食する“ヘビ喰いヘビ”であること、毒はありませんが毒ヘビのように首をS字型に曲げて威嚇したり、体を硬くして死んだふりをする擬態もやってのけるとのこと。撮影時には全く動かないため死んでいる個体と思っておりましたが、実はこの時も死んだふりだったのかもしれませんが。

前述のように、シロマダラは平地から山地まで広く生息するとされ、今回の確認位置（右写真矢印）もときがわの作業時に利用する駐車スペース付近、スギ植林内の路肩といった特に自然性が高いわけではない環境でした。

奥山の希少な生物ということでもなさそうなので、皆さんもどこかで出会いの機会があればいいですね。

